

枕崎市の国保財政と医療費の現状

国民健康保険財政の健全化は、本市にとって大きな課題となっています。そこで、現在の国民健康保険財政と医療費の現状及び皆さまに特にご協力いただきたいことについて、今回お知らせいたします。

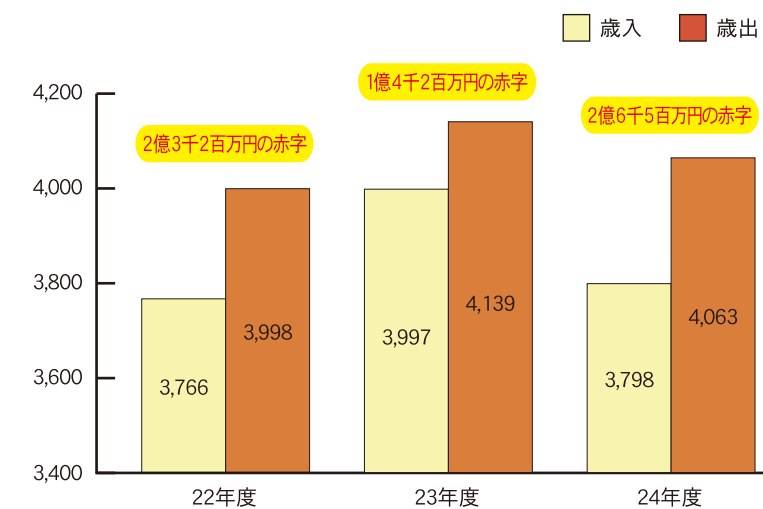
国民健康保険特別会計の財政状況 ～4年連続の赤字決算の見込み

近年の枕崎市国民健康保険特別会計（以下、国保会計）の財政状況は、平成22年度以降3年間連続の赤字決算となっており、累積赤字額は平成24年度末で2億6千5百万円に達しています。

また、平成25年度についても、平成24年度に策定した「財政健全化行動計画」に沿って様々な取組を実施してきましたが、医療費の著しい増加などの理由で財政状況は好転せず、過去3年に引き続き

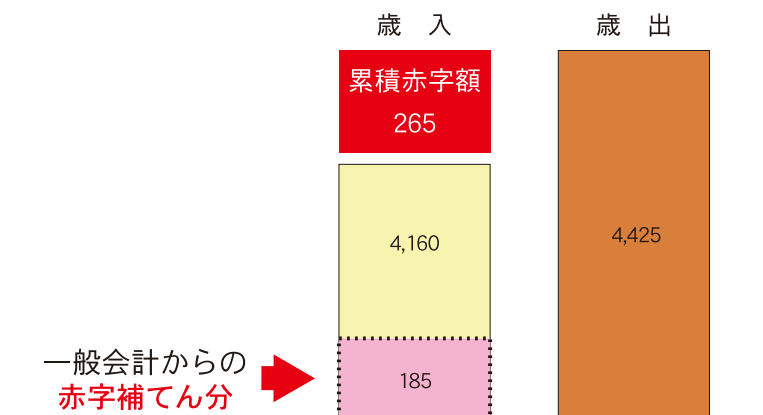
赤字決算となる見込みであり、依然として危機的な状況が続いています。このような状況の中、平成25年度については、平成24年度までに生じた2億6千5百万円以上に赤字額を増やさないよう、一般会計から赤字補てん分の繰入れを実施することとしました。

●過去3か年の国保会計の収支状況（単位：百万円）



●平成25年度の収支見込み（単位：百万円）

※金額は平成25年度最終補正予算額



医療費の推移 ～増加し続ける1人当たり医療費

本市の国保会計の危機的な財政状況が続く大きな原因の1つとして、医療費の増加があげられます。

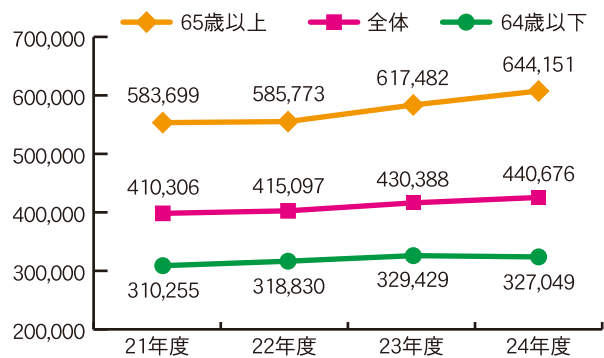
枕崎市国保の加入者数は年々減少しています。しかし、1人当たり医療費は、加入者の高齢化や、1件で100万円を超えるような高額な医療費が増えているなどの理由で増加し続けています。

年齢別に見ると、65歳以上の方の1人当たり医療費は、64歳以下の方に比べ約2倍となっています。

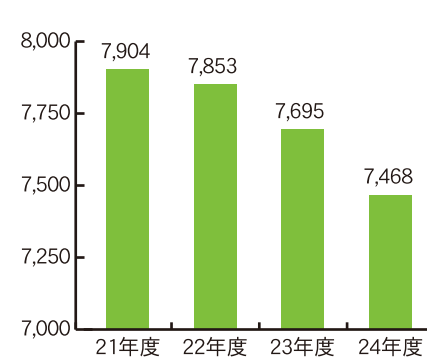
また、他市町村と比べても高く、平成24年度においては県内市町村で3番目の高さで、県平均額も大きく上回っています。

◎問合せ 健康課保険医療係
TEL 721111(内線148)

●年齢階層別1人当たり医療費の推移（単位：円）

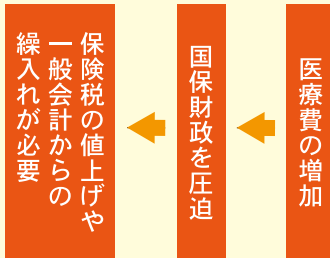


●枕崎市国保の加入者数（単位：人）



●医療費の増加が引き起こすこと

医療費が増加すれば、それに見合うお金が必要となり、最終的には皆様に負担していただく保険料の値上げなどにつながりかねません。



●平成24年度県内市町村国保1人当たり医療費の順位

1位	いちき串木野市	455,675円
2位	南さつま市	451,924円
3位	枕崎市	440,676円
4位	阿久根市	428,954円
5位	さつま町	425,954円
	県平均	369,295円

誰もが必要なときに、必要な医療を安心して受けられるために

枕崎市国保が取り組む次の項目について、市民の皆様の積極的なご参加、ご協力をお願いします。

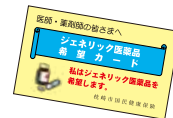
1 特定健診の受診

生活習慣を要因とする病気の早期発見に有効な無料で受けられる特定健診の受診をお願いします。



2 ジェネリック医薬品の使用

新薬と同じ有効成分を持った安価なジェネリック医薬品を積極にご使用ください。



3 健康づくり事業への積極的な参加

ダイエットコンテスト、市民健康教室、ウォーキング大会など各種健康づくり事業にご参加ください。



4 保健指導への協力

平成26年度から、校区别に担当の保健師を置き、重症化予防を中心とした保健指導のさらなる充実を図ります。

